

“ほふくのマスク”役立てて

光星高保育福祉科教職員
市老人ク連合会に寄贈



寄贈された八戸学院光星高保育福祉科教職員
手作りの「“ほふく”のマスク」

八戸

八戸学院光星高保育福祉

科の教職員10人は18日、さ

らしを使って1枚ずつ丁寧に

に手作りした布マスク13

8枚を、八戸市老人クラブ

連合会（古戸良一会長）に

寄贈した。

同科の生徒は、昨年10月

に市老連スポーツ大会でボ

ランティアとして運営を補

助し、翌月にも老人クラブ

との交流会を企画して、か

るたや手遊びを楽しんだ。

一連の行事で生徒がお世話

になった恩返しをしよう
と、同科の教職員がマスク
を手作りした。

この日は、蛭名淳子科長

ら同科教職員3人が同市根

城8丁目の同連合会事務所

を訪れ、約1カ月かけて、

心を込めて手作りした、学

科名にちなんだ“ほふく”の

マスクを、ぜひ役立てて

ほしい」と古戸会長にマス

クを手渡した。

古戸会長は「着け心地が

とても良い。大切に使用せ

ていただき」と感謝した。

（松橋広幸）